2026 年度（2026 年 4 月入学）

京都薬科大学大学院薬学研究科
薬学専攻

学生募集要項

博士課程（4 年制）

一般入試・社会人入試

京都薬科大学 入試課

〒607-8414　京都市山科区御陵中内町 5

Tel　（075）595-4678

Mail　kpu-koho@mb.kyoto-phu.ac.jp

目　　　次

【薬学専攻博士課程（4年制）】

Ⅰ　募集人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　入試日程 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅲ　一般入試・社会人入試

1　募集分野等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2　出願資格 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2

3　出願手続等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～3

4　入学者選考方法等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

5　合格発表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

6　入学手続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～5

7　学費等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

8　奨学金制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

9　R・A制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

10　転入学について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅳ　大学院薬学研究科薬学専攻博士課程各科学系および分野等の研究内容一覧 ・・・・・ 6～8

アドミッション・ポリシー

本専攻は 6 年制学部を基礎とする博士課程であり、薬学の様々な学術分野における高度な専門的学識と独創的な研究能力を有した基礎及び臨床薬学研究者並びに臨床薬剤師の養成を目的としています。また、医薬品開発全般を統括できる人材の養成や専門薬剤師の育成も支援します。このため、薬学関連の学術分野への研究志向をもち、知的好奇心に満ち柔軟な思考能力を有する創造力あふれる学生を求めます。

本専攻は、薬学専攻の特性と社会的要請を考慮し 6 年制薬学卒業者を主な募集対象としますが、薬剤師資格を有する 24 歳以上の旧 4 年制薬学卒業者及び海外の薬学系又は理科系修士課程修了者も対象として国内外に人材を募ります。

カリキュラム・ポリシー

基礎薬学及び臨床薬学研究を推進できる人材の養成を目指す。本課程は「基礎薬学コース」と「臨床薬学コース」から成っており、特論講義、総合薬学セミナー及び薬学研究演習を通じて、医療及び薬学の様々な学術分野における高度な専門知識と独創的な研究能力を身につけ、国際的に活躍できる臨床薬剤師並びに創薬及び臨床医薬品開発などの場で活躍できる基礎薬学研究者・臨床薬学研究者を養成する教育課程となっている。また、がん薬物療法に関する高度な専門知識と基礎又は臨床薬学研究能力を有する人材の養成を目的として「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」を推進しており、「がん患者の QOL 向上および終末期医療を担う人材養成コース」及び「近未来の医薬品・治療法の開発を担う人材養成コース」を設置し、患者のライフステージに応じたテーラーメイド医療を実践できる薬剤師・創薬研究者と、近未来の治療に対して指導的立場となる薬剤師や医薬品を開発できる薬剤師の養成を目指す。

薬学専攻博士課程（4年制）

Ⅰ　募集人員　　10名（一般入試・社会人入試）

Ⅱ　入試日程

	出願期間	試験日	合格発表
夏季募集	**2025年 7月 1日（火）～ 2025年 7月11日（金）〔必着〕**	**2025年 8月22日（金）**	**2025年 8月28日（木） （合格通知送付）**
冬季募集	**2026年 1月 7日（水）～ 2026年 1月14日（水）〔必着〕**	**2026年 1月23日（金）**	**2026年 1月26日（月） （合格通知送付）**

Ⅲ　一般入試・社会人入試

1　募集分野等

(1)募集科学系および分野等

科　学　系	分　　野　　等
創薬科学系	薬品製造学分野
分析薬科学系	薬品分析学分野　代謝分析学分野
生命薬科学系	衛生化学分野　微生物・感染制御学分野　細胞生物学分野　生化学分野 病態生理学分野
病態薬科学系	病態生化学分野　薬物治療学分野　薬理学分野　臨床腫瘍学分野
医療薬科学系	薬剤学分野　臨床薬学分野　臨床薬剤疫学分野
薬学教育系	臨床薬学教育研究センター
統合薬科学研究施設	シナジーラボ

(2)協力分野等

科　学　系	分　　野　　等
創薬科学系	薬化学分野　薬品化学分野　生薬学分野
分析薬科学系	薬品物理化学分野
生命薬科学系	公衆衛生学分野
統合薬科学研究施設	放射性同位元素研究センター

※協力分野においても研究指導を受けることができる。

2　出願資格

(1) 6年制薬学部を卒業した者（2026年3月末日までに卒業見込者を含む）

(2) 大学（4年制学部）を卒業後、社会人として大学、官公庁、企業又は病院等において2年以上の実務・研究経験を有している者（本学における研究生を含む）(1)の者と同等以上の学力があると認

めた者

(3) 修士の学位を有する者（2026 年 3 月末日までに当該学位取得見込者を含む）

(4) 外国において、学校教育における所定の課程を修了した者で、(1)の者と同等以上の学力があると認めた者

(5) 外国において、修士の学位に相当する学位を有する者（2026 年 3 月末日までに当該学位取得見込者を含む）

(6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、(1)～(5)の者と同等以上の学力があると認めた者

〔注 1〕出願希望者（他大学出身者、社会人及び外国人留学生を含む）は、出願前に入学後指導を受けたい教員に相談すること。

〔注 2〕出願資格の（2)、(4)、(6）の資格で出願を希望する者は、出願資格の認定審査を行うため、次の書類を入試課に提出すること。認定審査の結果については本人に通知する。

【提出書類】

①出願資格認定申請書（所定の用紙）

②実務・研究経験及びその概要（2,000 字以内）

③出身大学の卒業証明書及び成績証明書

④研究生等であることの証明書（出願資格（2）に該当し、研究生等である者のみ）

⑤その他入試課が指示する書類

〔注 3〕出願資格の（4）の資格で出願を希望する者は、当該課程修了の事前確認を行うため、出願前にそのことを証明する書類を入試課に提出すること。

〔注 4〕現在、社会人として企業や病院等に在職中の者で、入学後もその勤務を継続する者は、所属長の修学承諾書を出願時に提出すること。

【認定審査日程】

	出願資格の認定申請期限	認定結果の通知期限
夏季募集	**2025年 6月 2日(月)まで**	**2025年 6月27日(金)まで**
冬季募集	**2025年11月20日(木)まで**	**2025年12月23日(火)まで**

3 出願手続等

(1) 出願期間

夏季募集　2025 年 7 月 1 日（火）～ 2025 年 7 月 11 日（金）[必着]

冬季募集　2026 年 1 月 7 日（水）～ 2026 年 1 月 14 日（水）[必着]

(2) 提出先

〒607-8414

京都市山科区御陵中内町 5

京都薬科大学　入試課

TEL：075-595-4678

【郵送の場合】

必ず**書留郵便**又は**レターパックプラス**とし、封筒の表に「薬学専攻博士課程願書」と記載すること。

【持参の場合】受付時間は平日午前 9 時から午後 4 時までとする。

(3) 出願上の注意事項

① 出願書類等受理後の出願書類等の記載内容についての変更は認めない。

② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しない。

③ 出願書類等に重要事項の記載漏れや虚偽の記載があった場合には、入学後においても入学を取り消すことがある。

④ いったん納付した入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。

⑤ 疾病又は身体等の障害により、受験時又は入学後に特別な配慮を希望する場合は、出願までに入試課へ相談すること。

(4) 出願書類

入学願書 志願者名票 受験票	本学所定用紙に、必要事項を記入したもの。
成績証明書	本学卒業見込者を除く。当該大学において記載厳封したもの。 Ｐ１の「２ 出願資格」の（2）（4）（6）に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
卒業・修了（見込）証明書	本学卒業見込者を除く。当該大学において記載厳封したもの。 Ｐ１の「２ 出願資格」の（2）（4）（6）に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
写真	ﾀﾃ５㎝×ﾖｺ４㎝、上半身無帽・正面・無背景で出願前３ヵ月以内に撮影したもの３枚を入学願書、志願者名票、受験票に貼付けのこと。
卒業論文	卒業論文(写)1部及び卒業論文の要旨（2,000字以内）1部（英文可） 卒業・修了見込者は卒業研究の概要（2,000字以内）1部（英文可） Ｐ１の「２ 出願資格」の（2）（4）（6）に該当する出願者は出願時に提出する必要はない。
入学検定料	入学検定料　25,000円 本学指定の払込用紙を使用し、郵便局に払い込み「振替払込受付証明書」を提出すること。(収納印があるもの) 学術交流協定大学の卒業（見込）者の入学検定料については免除する。
修学承諾書	企業や病院等に在職中の者で、入学後もその勤務を継続する場合は、所属長の修学承諾書を提出すること。
宛名ラベル	合格通知、入学手続書類を受け取る郵便番号、住所、氏名を明記すること。 3連とも記入のこと。
住民票	外国人留学生のみ提出。 在留資格及び在留期間が記載されたもの。 学術交流協定大学の卒業(見込)者は大学長等の正式な推薦状で代用可能(任意)。 その場合は、入学手続時に住民票の提出を求める。

※改姓等の理由により、各証明書等記載の氏名と表記が異なる場合は、証明できる書類を添付すること。

(5) 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている個人情報は、大学院入試事務・統計及び学籍情報管理のために使用する。

4　入学者選考方法等

(1) 選考方法

薬学専攻に必要な研究能力についての面接により行うものとし、面接における試問は、卒業論文又はそれに相当する研究業績のプレゼンテーションを中心に行う。

本学との学術交流協定に基づく留学生及び日本政府奨学金留学生については、面接・試問を行わず、書類選考のみとする。

(2) 面接・試験日程

	日　　時	選　　考
夏季募集	**2025 年 8 月 22 日(金)**13 時 30 分（予定）	面接（プレゼンテーション）
冬季募集	**2026 年 1 月 23 日(金)**10 時(予定)	

出願後、期日（入試課より別途連絡）までにプレゼンテーションで用いる電子データを入試課へ提出すること。(Microsoft PowerPoint で作成すること。なお、プレゼンテーションには Windows のパソコンを使用)

(3) 試験場

京都薬科大学

JR 東海道本線・京都市営地下鉄東西線 各「山科」駅、京阪京津線「京阪山科」駅から徒歩約 10 分。

(4) 試験当日の注意事項

① 面接、試問の時刻に遅れないようにすること。

② 台風、降雪、地震、洪水等のやむを得ない事態、その他事故で交通機関が大幅に乱れたときは、入学試験日を変更することがある。変更日は、原則としてその翌日とする。

なお、台風の場合は、その接近により、試験当日午前 8 時現在で京都府南部全域（もしくは京都・亀岡地区）に「暴風警報」が発令されている場合にこの措置をとる。

最終決定は、本学のホームページ等で通知するので、注意すること。

5　合格発表

夏季募集　2025 年 8 月 28 日（木）　（合格通知書送付予定）

冬季募集　2026 年 1 月 26 日（月）　（合格通知書送付予定）

6　入学手続

入学試験に合格し入学を希望する者は、期限内に入学手続時納付金を納付し、入学手続書類等を提出すること。期限までに納付並びに提出されないときは、入学資格を失うことになるので注意すること。

入学手続時納付金	金　額	納付・提出期限
入　　学　　金※	100,000 円	**2026 年 3 月 5 日（木）**
授業料（前期分）	350,000 円	**2026 年 3 月 5 日（木）**
入学手続書類等	―	**2026 年 3 月 5 日（木）**

＜上記の入学金・授業料には、消費税は課税されない＞

※本学 6 年制薬学部卒業見込者が引き続き本学大学院博士課程へ進学する場合、入学金を免除する。
※学術交流協定大学の卒業（見込）者の入学金は免除する。
（注）いったん納付した入学金及び入学手続書類等は、入学を辞退又は入学ができない場合にも返還しない。

7 学費等

（単位：円）

学　年	区　分	前　期	後　期	計（年額）
1	入　学　金	100,000※1	―	100,000
	授　業　料	350,000※1	350,000	700,000
2	授　業　料	350,000	350,000	700,000
3	授　業　料	350,000	350,000	700,000
4	授　業　料	350,000	350,000	700,000
	論文審査料	―	50,000※2	50,000

（注）※1：入学手続時に納付　　※2：論文審査時に納付
なお、修了までに経済情勢等に変動がある場合には、授業料等を変更することがある。

【私費外国人留学生授業料減免制度】
京都薬科大学私費外国人留学生授業料減免取扱要綱に基づき、授業料の減免（授業料の半額）を希望する者は、合格通知の受領日から入学手続期限までに、所定の授業料減免申請書を事務局国際交流推進室に提出すること。詳細については、合格通知書送付時の書類で通知する。

8 奨学金制度

本学大学院では、選考により日本学生支援機構奨学金又は本学奨学金を受けることができる。
（詳細は事務局学生課まで）

【外国人留学生奨学金（国費外国人留学生を除く）】
学力及び人物ともに優れ、かつ、経済的な理由により修学困難で勉学意欲の強い外国人留学生について、京都薬科大学外国人留学生奨学金規程に基づき事務局国際交流推進室に申請し、審査を経て決定した場合には、月額 3 万円の奨学金の給付を受けることができる。
（詳細は事務局国際交流推進室まで）

9 Ｒ・Ａ制度

本学大学院では、リサーチ・アシスタント（R・A）に委嘱され、手当が支給される。
R・A は年額約 1,200,000 円である。募集要項参照（詳細は事務局庶務課まで）

10 転入学について

本学大学院学則第 22 条の 2 及び第 22 条の 3 の規定に基づき、欠員のある場合に限り、本学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程への転入学を受け入れることがある。転入学を希望する場合は、予め本学入試課まで連絡すること。

Ⅳ　大学院薬学研究科薬学専攻博士課程各科学系および分野等の研究内容一覧

〈募集分野等〉

科　学　系	分　野　等	指導教員＊	主な研究内容＊
創薬科学系	薬品製造学	教　授　南部　寿則	○生物活性化合物の効率的合成法の開発と応用研究 ○天然物様分子の効率的合成法の開発と創薬化学研究 ○複素環形成反応の開発と応用研究
分析薬科学系	薬品分析学	教　授　武上　茂彦	○脂質ナノ粒子を用いた超高感度発光分析法の開発研究 ○分子インプリント法を用いた化学センサーの開発研究 ○抗体工学を基軸とした高感度免疫測定法の開発研究
	代謝分析学	教　授　安井　裕之	○生命金属と病態や薬物療法との連関を解析するメディカルメタロミクス研究 ○糖尿病・がん・MASH・IBD・皮膚疾患を改善する無機医薬品の創薬研究 ○亜鉛欠乏症から派生する多様な病態の分子機構を解明する分子生物学研究
生命薬科学系	衛生化学	教　授　長澤　一樹 准教授　髙山　健太郎	○うつ病や薬剤によって誘発される味覚障害分子機構の解明 ○生体由来ペプチドによる内分泌・代謝疾患の予防と克服 ○神経・精神疾患における生理活性脂質の役割の解明
	微生物・感染制御学	教　授　八尋　錦之助	○病原細菌毒素の宿主障害機構に関する研究 ○病原細菌感染モデルマウスによる病態発症機構に関する研究 ○病原細菌の病原因子制御機構の解明に関する研究
	細胞生物学	教　授　藤室　雅弘	○ヘルペスウイルスの複製機構と病原性 ○発がん、細胞死、免疫、神経再生に関わるシグナル伝達 ○タンパク質の翻訳後修飾と分解機構
	生　化　学	教　授　中山　祐治	○細胞周期、細胞分裂制御機構 ○細胞機能制御の破綻と細胞がん化に関する研究 ○細胞分裂を標的とするがん治療薬の創薬研究
	病態生理学	教　授　芦原　英司※1 准教授　細木　誠之	○酸性がん微小環境を治療標的とする病態生理学的研究 ○治療応用に向けた気道粘液線毛クリアランス活性化化合物の探索 ○組織内 pH 環境の生理学的意義と治療への応用
病態薬科学系	病態生化学	教　授　秋葉　聡※2 准教授　石原　慶一	○非アルコール性脂肪肝炎の病態進展分子機構に関する研究 ○ダウン症における精神発達遅滞の発症分子機構に関する研究 ○認知症における記憶形成障害の発症分子機構に関する研究
	薬物治療学	教　授　加藤　伸一 准教授　林　周作	○難治性消化管疾患の病態解明および予防・治療法の探索 ○消化管における炎症・免疫応答の制御機構の解明 ○消化管上皮バリア機能の制御機構の解明
	薬　理　学	教　授　田中　智之	○マスト細胞の機能発現の機序の解明 ○マスト細胞に発現する G タンパク質共役型受容体の機能の解析 ○炎症性疾患を標的とした薬理学的研究

科　学　系	分　野　等	指導教員＊	主な研究内容＊
病態薬科学系	臨床腫瘍学	准教授　中田　晋	○がん幹細胞を攻撃するための治療標的分子の探索と創薬研究 ○GGCT 機能解析とがん特有の代謝経路を標的とした創薬研究 ○難治性悪性腫瘍細胞の増殖と細胞死誘導メカニズムの解明
医療薬科学系	薬　剤　学	教　授　異島　優 准教授　前田　仁志	○内因性タンパク質を用いた臓器選択的デリバリーキャリアの開発 ○糖鎖工学を駆使した細胞選択的デリバリーキャリアの開発 ○ターゲティング能を高めた細胞膜外小胞の開発
	臨　床　薬　学	教　授　西口　工司	○抗がん剤の適正使用に関する研究 ○病態・食習慣に着目した薬物動態の個人差に関する研究 ○医薬品の適正使用へのエビデンス付加を目指した研究
	臨床薬剤疫学	教　授　村木　優一	○リアルワールドデータを用いた適正使用の評価法の確立 ○薬剤師の介入の評価及び薬物療法の薬効・副作用の要因分析 ○薬物療法への介入が医療や使用動向に及ぼす影響の評価
薬学教育系	臨床薬学教育研究センター	教　授　北田　徳昭	○薬物療法における薬効・副作用に関する研究 ○地域医療における薬局・病院薬剤師の職能向上に関する研究 ○数理モデルを用いた臨床医薬品評価に関する研究
統合薬科学研究施設	シナジーラボ	教　授　高田　和幸	○神経変性疾患に対する再生医療学的研究と創薬研究 ○脳内免疫の制御による脳疾患治療法の開発 ○幹細胞を用いた難治性疾患の新規治療戦略の開発

〈協力分野等〉

科　学　系	分　野　等	指導教員＊	主な研究内容＊
創薬科学系	薬　化　学	教　授　古田　巧 准教授　小林　祐輔	○新規触媒的分子変換法の開発と生物活性物質創製への展開 ○新反応開発に資する分子性触媒、ならびに新規反応剤の創製 ○生物活性天然有機化合物の全合成
	薬品化学	教　授　大石　真也 准教授　小林　数也	○ペプチド性天然物及びペプチド性リガンドからの創薬研究 ○化学合成タンパク質を利用した医薬品探索技術の開発と応用 ○機能性分子の分子設計と生命科学研究への応用
	生　薬　学	教　授　中村　誠宏	○生薬学を基盤とした薬用植物由来生体機能性化合物の開発 ○植物酵素を利用した機能性分子の開発 ○植物成分の生合成中間体を利用した難治性疾患治療薬の開発
分析薬科学系	薬品物理化学	教　授　斎藤　博幸※3 准教授　長尾　耕治郎	○タンパク質の凝集・線維化による疾患発症の分子機構 ○膜脂質の構造と分布の制御を介した細胞機能の調節機構 ○生体分子システムにおける脂質-タンパク質相互作用の解析
生命薬科学系	公衆衛生学	准教授　松本　崇宏	○植物―内生真菌間相互作用機構の解明および創薬への応用 ○疾病予防を目指した天然由来新規医薬品シーズの開拓 ○疾病予防医薬品シーズの標的分子解明および構造最適化研究

科　学　系	分　野　等	指導教員＊	主な研究内容＊
統合薬科学 研究施設	放射性同位元素 研究センター	准教授　河嶋　秀和	○生体機能の解明を目指した分子イメージングプローブの創製 ○放射性トレーサを用いた疾患モデル動物のインビボ病態解析 ○悪性腫瘍の診断と治療の融合：ラジオセラノスティクス研究

＊各分野等の指導教員及び研究内容は、2025 年 5 月 1 日現在のものである。

〔在学期間：2026 年 4 月 ～ 2030 年 3 月〕

〈在学期間中に退職となる教授〉

※1 教　授　芦原　英司　2027 年 3 月末定年退職

※2 教　授　秋葉　　聡　2028 年 3 月末定年退職

※3 教　授　斎藤　博幸　2028 年 3 月末定年退職

2025 年 5 月　京都薬科大学大学院薬学研究科